

非営利型一般社団法人 日本おうちワーク協会

【日本おうちワーク協会】URL : <https://ouchi-work.jp>

Felixia 株式会社

千葉県流山市南流山 1-1-13 南流山高雅ビル 401



スタッフの皆様、ご家族を交えておうちポーズ

家族のそばで働く選択肢を—— おうちワークを全国へ広めたい



『日本おうちワーク協会』代表理事
『Felixia』代表取締役 社長 **上浦 有賀**

インターネット広告やWEB集客などを手掛ける『Felixia』。同社の上浦社長は、通勤が難しく働けない全国の人々に向けて、これまで蓄積してきた在宅で働くためのノウハウを伝えるべく、『日本おうちワーク協会』を設立した。本日はタレントの布川敏和氏が同社を訪問。お話を伺った。

——まずは、上浦社長の歩みから。

地元は愛知県で、『神戸大学』進学を機に兵庫に移りました。卒業後は『日本IBM』に入社。営業職として、日本の製造業のお客様を担当し、社内のチャットやWEB会議システムなどの働き方改革に関するソリューションを提案していました。そうした中で、縁があって結婚し、2014年に長女を出産しました。ただ、出産後に足が悪くなってしまい、松葉杖生活を送ることになりました。

——そのような経験をされ、自宅でできるお仕事を始められたと。

ええ。両親共に医師で、働く母を見て育ちましたから、私も出産をしても働きたいと思っていました。しかし、足が痛くて歩けない状態で、育児や家事と仕事の両立は厳しく、職場復帰を諦め、自宅でできるような仕事を探したのです。まず試しに、元手のかからないブログを始め、そこにクリック型の広告を貼り付け、その広告がクリックされた数に合わせた収入を得られる「アフィリエイト」を始めました。すると少しずつ収入が増えるようになっていったんです。その後も順

調にアクセス数を伸ばすことに成功。少し余裕がでてきたこともあって、週末には、家族で外食を楽しめるようになり、家庭内に笑顔が増えていったんです。そして、この経験はインターネット広告をつくる時やWEBの集客数をアップしたい時に役に立つのではないかと感じ、これまでのノウハウを活かそうと『Felixia』を設立しました。

——法人設立にはそんな経緯があったのですね。そして、新しい法人も立ち上げられたそうで。

ええ。自分自身がそうだったように、子どもがいて働きに出られない方や身体が悪くて普通に働くことのできない方の手助けになりたいと、仲間と共に2018年に『日本おうちワーク協会』を立ち上げました。理念は「楽しくおうちで働く人を創り出す」です。ブログやアフィリエイトは、挑戦したいと思っていても一

人ではわからないことも多いですし、ノウハウが必要だと思うんです。ですから、これまでの経験を活かして、各種講座を開講しています。また、私一人では全国の方にノウハウを教えることには限界があります。そのため、ブログの始め方やサイトの作り方などを教える講師——「認定おうちワークアドバイザー」を育てる講座も開講しました。目標としては、2020年までに、各都道府県に1名以上、全国で55名のおうちワークアドバイザーを輩出することですね。そして、自宅で働くという選択肢を広め、職業として確立していきたいです。

——御社は働きたくても、何らかの事情があって働けない方々の希望となり続けることでしょうか。最後にこれからの目標をお聞かせ下さい。

私は、仕事できて幸せですし、仕事で多くの仲間と出会えて嬉しく思っています。ですから、働くことができて、歯がゆい思いをされている方々を救っていきたく。そうして、一人ひとりが輝ける社会にしていきたいですね。

(取材 / 2018年11月)

After the Interview

「全国には、働きたくても働けない人がたくさんいます。上浦社長のように、育児や身体の事情はもちろんですが、介護などで働けない人は少子高齢化社会の進んでいる日本では、今後さらに増えるような気がします。そんな人々が働くことができる選択肢を広げている社長は、本当にすごいです。今後も一人ひとりが輝ける社会づくりに貢献して下さいね」 布川敏和・談